

茨城県保幼小接続カリキュラム

【このカリキュラムについて】

この保幼小接続カリキュラムは、幼児教育に携わる保育者及び小学校教育に携わる教員等が日々の教育・保育に生かしてもらうために作成したものです。カリキュラムは、具体的な子どもの姿で記述してあります。特に幼児教育における記述は到達目標ではなく、その姿の育成に向けた教育・保育の方向性を示すものです。

【記号の見方 ○：幼児期で目指す姿 □：児童期で目指す姿 ■：幼児期と児童期を通して目指す姿】

	幼児期（5歳児夏頃）	幼児期の終わり	小学校入学期	1学期の終わり
学びに向かう力	主体的に学ぶ力	○興味のあることに進んで取り組む中で、試したり工夫したりしながら遊びを深めようとする。12 ○生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや考えたことを言葉や絵、音楽、動きなど、いろいろな方法で表現することを楽しむ。67 ○自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化や不思議さ等を感じとり、身近な事象への関心を高める。4 ○読み聞かせを楽しんだり、自分で本を読んで想像を広げたりする。67 ○自ら十分に体を動かす心地よさを味わい、繰り返ししたり、挑戦したりして、自分の力を発揮しようとする。1	□小学校での過ごし方（生活のリズムや場所など）に慣れ、楽しく学校生活を送ろうとする。 □学習や生活の中の様々な課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。 □幼児期の教育を通して育まれた力を生かして、いろいろな方法で自分らしく表現しようとする。（全教科） □学校の動植物や身近な自然に触れ、その美しさ・不思議さ・四季の移り変わり等から感じたことや気付いたことを表現しようとする。（国語・生活） □本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読んだり、読み聞かせを聞いたりする。 □いろいろな運動や新しい体の動きに興味をもち、楽しんで挑戦しようとする。（体育）	
	人と関わりながら学ぶ力	○自分の感じたことや考えたことを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の話をよく聞いたりして遊ぶ楽しさを味わう。7 ○友達の考えに触れることで、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、自分の見方や考えを広げようとする。7 ○共通の目的に向かって、協力して遊びや活動を進める。5	□いろいろな運動や新しい体の動きに興味をもち、楽しんで挑戦しようとする。（体育） □絵や図、言葉や文で、自分の思いや考えを表現し、互いの考えを聞き合いながら学習や活動を進めようとする。 □相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりする。 □新しい友達と進んで関わり、互いのよさを生かしながら学習に取り組もうとする。 □友達と話し合いながら自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりしようとする。	
	数量、図形、文字への関心	○生活や遊びの中で、文字に興味・関心をもち、文字を使う楽しさや相手に伝える面白さに気付く。67 ○生活や遊びの中で、数えたり、比べたり、組み合わせたりすることを通して、数量や図形などに関する感覚を養い、興味・関心を深めていく。6	□鉛筆の持ち方に気を付け、丁寧に自分の名前やひらがなを書こうとする。（国語） □言葉のまとまりを意識してひらがなを読んだり、書いたりしようとする。（国語） □いろいろな観点を基に仲間集めをする。（算数） □10までの数を数えたり数字を読んだり、順番や物の位置を数で表したりする。（算数）	
生活上の自立	規則正しい生活	○自ら身支度をしようとする。（衣服をきちんと畳む、ボタンの掛け外しや紐を結ぶ、立ったまま靴の着脱をする等）2 ○食事のマナーを守って楽しく食べようとする。（時間を意識する、箸を正しく持つ、よく噛む等）2 ○自分の持ち物の整理整頓をしようとする。2	■「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムを身に付ける。3 ■一日の流れや時間を意識し、見通しをもって生活しようとする。2 □場にに合わせて身支度をしようとする。（給食着や雨具の後始末をする等） □食事の大切さを学び、給食の配膳や後片付けができ、給食を楽しむ。 □学習用具の準備や後片付けなど、自分のことが自分でできるようになる。	幼児期や児童期の中で、比較的早期に見受けられる姿かどうか、幼児期や児童期の1学期のそれぞれの終わりごろまでに見られればよい姿かどうか等、育ちの時期を考慮して文頭の位置を変えています。
	健康で安全な生活	○身の回りを清潔にし、衛生面に気を付けようとする。（うがい・手洗い、咳やくしゃみを人に向けない、自分で気付いて鼻をかむ等）1 ○食べ物に関心をもち、好き嫌いをなく食べようとする。1 ○公共の場でのトイレの使い方を身に付ける。（和式トイレに慣れる、ノックをしてから入る等）1 ○自分の身を自分で守ろうとする。（遊具を安全に使う、交通ルールを守る、不審者や災害時の対応を知る等）1	□休み時間には屋外で遊ぶなど、丈夫な体をつくり、病気の予防に努めるようになる。 □いろいろな食べ物や栄養に関心をもち、好き嫌いをなく食べようとする。 □施設や公共の場所のルールやマナーを守るようになる。 □危険を予測して、自分や友達の身を守ろうとする。	
	人との関わり	○身近な人々に親しみをもち、役に立つ喜びを感じるようになる。5 ○あいさつや返事を進んでしようとする。3 ○姿勢を意識して、最後まで人の話を聞こうとする。2 ○自分の物と友達の物を区別でき、どちらも大切にしようとする。5	□集団の一員として、適切に行動しようとする。 □気持ちのよいあいさつや返事、相手考えた言葉遣いを心掛ける。 □話を落ち着いて最後まで聞くようになる。 □自分の物だけでなく他の物も大事にしようとする。	
心の成長	自身の心の成長	○自信をもって、意欲的に活動に取り組もうとする。17 ○最後まであきらめずにやり遂げようとする。2 ○きまりの必要性を理解し、約束を守って行動しようとする。5	□新しい学習や活動に、意欲的に取り組もうとする。 ■自分なりの目標をもって進んで挑戦しようとする。2 □思うようにならなくても、くじけずに取り組もうとする。 □学校の約束やきまりを知り、よいことと悪いことを考えながら行動しようとする。	
	人との関わりを通じた心の成長	○進んで友達と関わり、互いのよさを認め合おうとする。5 ○思いやりの心をもって人と接しようとする。45 ○身近な人に感謝の気持ちをもつようになる。5 ○仲間意識を高め、つながりを深めようとする。5	□友達と一緒に活動する中で、お互いを理解し、仲良く助け合おうとする。 □トラブルになったときに、自分たちで解決しようとする。 □自分のことを大切に、相手のことも大切にしようとする。 □新しい友達や先生、上級生や地域の人々など、様々な人と触れ合うことを楽しみにする。 □学校生活を支えている人に関心をもち、感謝の気持ちをもつ。	
	様々な経験に基づく心の成長	○共通の目的をもって遊びや活動を進め、充実感や達成感を味わう。67 ○就学することへ期待をもち、自分の成長に自信と自覚がもてるようになる。1	■動植物の世話等の体験活動を通して、命を大切にすることを学ぶようになる。4 □新しい友達と仲良く助け合おうとする。 □幼児期の教育を通して身に付けたことを生かしながら学習や生活をしようとする。	

○の中の数字は、「就学前教育・家庭教育推進ビジョン」の中の「幼児期に育てほしい子どもの姿」の7つの姿の番号と一致しています。

※「ひよこ」は『家庭教育ブック ひよこ』、「ブック」は『家庭教育ブック』を指します。

保護者と共有したい家庭教育の視点

「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムをつくりましょう。
ひよこ p.8,12,16
ブック p.25,28

定期予防接種や定期健診を受け、健康で安全な生活を送れるようにしましょう。
ひよこ p.15, 17
ブック p.32

家族で食事を楽しみ、食の大切さを伝えましょう。
ひよこ p.12,16
ブック p.28

お手本を示し、あいさつや返事の習慣をつけさせましょう。
ひよこ p.7,16
ブック p.28

自分のことは自分でできるように、温かく見守りましょう。
ブック p.11,28

多くの自然体験や生活体験の機会をつくり、子どもとともに楽しみましょう。
ひよこ p.13,16
ブック p.17,18

読み聞かせをして、子どもと一緒に時間を過ごしましょう。
ひよこ p.10
ひよこ「読み聞かせ貯金通帳」

メディアとの接し方を考えて、家庭のルールをつくりましょう。
ひよこ p.11
ブック p.26,27

積極的にお手伝いをさせ、たくさんほめてあげましょう。
ひよこ p.14
ブック p.18

土台となる家庭教育 ～豊かな心を育みましょう～